

小さい者の一人が減びることは天にいますあなたがたの父のみ心ではない。



社会福祉法人 小羊学園

〒431-1304
静岡県浜松市北区細江町中川7440-1
電話：053-437-0826 FAX：053-437-0849
E-mail kohitsuji@imix.or.jp
H.P http://www.kohitsuji.or.jp/
発行人：稲松 義人
印刷所：聖隷サービス(有)
定 価：一部 30円

2009年5月20日
第 313 号

温かい家庭が 福祉社会の原点

理事長 稲松義人

今年も小羊学園の創立感謝祭に、退職した職員や、育児休暇中の職員が、幼い子どもを抱いて、あるいは手を引いて大勢来てくれました。今年は、特に赤ちゃんが多かったような気がしました。ある人は生後四ヶ月の赤ちゃんを、別の人は生後六ヶ月、また他にも一歳二ヶ月というふうに、何人もの赤ちゃんと出会うことができました。私は職業柄、ついつい子どもをあやして、その反応をみながら観察するのがくせになっていきます。障がいがあるかどうかを確かめているのではなく、初めて出会った「知らないオジさん」にどのような反応をしてくれるかを見るのが楽しみです。

小さな子どもは、日常的には、母親を中心に、家族の人間関係の中で過ごすことが多いと思います。ヒトの赤ちゃんは、動物の中で最も未熟な状態で産まれてくると言われ、生きていくのに必要なすべてのことをお世話してもらわなければなりません。子どもたちにとっては、生まれた日から毎日自分のことをお世話してくれている人の存在が一番の安心であり、その人への信

頼をもとにして、人と人をつなぐ心が健やかに育っていきます。この頃は、育児をめぐる父親と母親の役割分担が大きく変わりつつあるのかも知れませんが、この信頼関係の形成については、受胎、出産、授乳の流れに沿って、今も、特別の事情がないかぎり、母親が担っているのだと思います。

子どもはお母さんが自分自身のことを大切に思ってくれていることを肌で感じながら育ちます。具体的には、目でその表情を見、耳でその声を聞き、舌で与えられる食物を味わい、鼻でその人の香りを感じ、まさしく五感を精一杯働かせて、安心を得ようとします。毎日そのようにして感じてきた刺激を、無意識のうちにどんどんと記憶にとどめていきます。

「三つ子のたましい百まで」という格言があります。ほとんど思いだせないような三歳頃までの経験にもとづいた記憶が、その人の一生に大きな影響を与えるということでしょう。これにヒントを得て、英才教育と称し、幼い時期からクラシック音楽を聞かせたり、英語を聞かせたり、様々な早期教育に熱心になる親がいます。もちろんそれはそれなりに成果があるのだろうと思います。しかし、たとえ音楽や外国語ができなくても幸せになることはできませんが、将来しあわせに暮らしていくためには、もっと大切なことがあるのです。それは、自分のことを大切に

にしてくれる人の存在を通して、自分がかげがえのない大切な存在なのだと思いを確信をもって生きていくことだと思えます。このことを、自分のことが自分では何もできない乳児の時期から、五感で感じながら育つことが大切なのだと思えます。

二歳半頃になると、多くの子どもはことばを使うようになり、さらに様々なことをどんどん吸収し、知恵も力もついてきます。自分の欲しいものをどのようにしたら手に入れることができるかということも毎日の経験から自然に身につけるようになります。この時期から、「あなたがかげがえのない大切な存在だ」ということに併せて「あなたにこうして欲しい。」「あなたにこのような生き方をして欲しい。」ということを伝えていかなければなりません。人と人との間で、このように生きて欲しいのだということは、ことばで伝えるだけでなく、自らもお手本になって伝えていかなければなりません。子どもが自己主張をはじめたときから、主体性を認めつつ、人間としての生き方を伝えていかなければなりません。自分は大切な存在だという確信ももてること、他者もまたおなじように大切な存在だということを、人間関係の中で学んで育ちます。そのことによつて共に生きていく福祉社会（コミュニティ）が生み出され、命のつながりが受け継がれていくのだと思います。

二〇〇八年度(平成二〇年度) 事業報告にあたって

理事長 稲松 義人

昨年の秋、小羊学園では、資金の面からぎりぎりの決断によって進めてきた三方原スクエアの新築工事を竣工することができた。私たちの窮地に本当に多くの方たちがご支援くださり、小羊学園家族会からのご協力の他にも例年の倍以上のご寄付が寄せられたことに心からの感謝に堪えない。また、自己資金の不足分を補う借入金返済のために、最終的には旧小羊学園(児童寮・青年寮)の跡地の売却を考えていたが、予測より早めに、実現する見通しになったことは、法人として今後の事業展開を考える上で大変ありがたいことであった。

小羊学園(児童寮青年寮)から三方原スクエアへの転換は、従来の入所型福祉施設のイメージを変えたという感想が多く聞かれる。また、そこに示される小羊学園が目指そうとしている支援のあり方についても多くの方が期待を寄せてくださっている。実際の支援にあたっては、今後、試行錯誤を繰り返しながら安定したものに高めていかなければならないが、新しい時代に向かってこれからの福祉のあり方に一石を投

じる可能性のある施設整備になったと思っている。

つばさ静岡は、開設から三年が過ぎたが看護職員の配置に不安を残す状況下、決して安心できる経営状況にまでは至っていない。また、今後、新体系への移行を控える支援センターわかぎも、障害程度区分の判定についての見直しの動向にもよるが、今後のあり方を考えると楽観視できない。それに比べると通所部門(小羊デイケアホーム、マルカート、オリーブの樹)は、経済的に有利な環境にあつてこれまでにないい好調な財務状況にある。

法人では、執行役員会を中心に、経営環境が大きく揺れ動く中で前年度に引き続き、組織のあり方、将来展望について繰り返し協議してきた。数年後には次の世代に継承することも視野に入れつつ様々な意見が出されるなかで、外部理事、監事、評議員等からも厳しいご意見も聞かせていただいた。将来の見通しの利かない時代に目に見える将来構想をまとめることは難しいところもあるが、法人全体としてコンセンサスが得られるような計画づくりの努力をしていきたい。

それぞれの現場を支える職員の努力と、周囲から支えてくださる多くの人たちのご協力とご支援とに心より感謝しつつ、二〇〇八年度(平成二〇年度)の事業報告にあたって理事長としてのまとめとしたい。

1. 財産目録

資産・負債の内訳	金額
現金預金	197,914,260
未収金	277,427,840
貯蔵品	206,619
立替金	2,242,584
前払金	173,810
短期貸付金	20,000,000
流動資産合計	497,965,113
(1) 基本財産	
建物	2,450,399,924
土地	1,136,471,226
基本財産合計	3,586,871,150
(2) その他の固定資産	
建物	34,276,615
構築物	12,899,339
機械及び装置	79,774
車両運搬具	24,518,803
器具及び備品	64,875,612
土地	8,613,876
施設・設備等積立預金	35,500,000
退職共済預け金	16,080,338
その他の固定資産	1,908,725
その他の固定資産合計	198,753,082
固定資産合計	3,785,624,232
資産合計	4,283,589,345
短期運営資金借入金	20,000,000
未払金	78,900,124
未払金	78,900,124
預り金	322,636
預り金(住民税)	26,000
預り金(社会保険料)	192,495
その他	59,778
預り金(職員)	44,363
流動負債合計	99,222,760
長期設備資金借入金	1,393,774,288
長期設備資金借入金	1,393,774,288
長期運営資金借入金	12,918,000
退職給与引当金	16,080,338
固定負債合計	1,422,772,626
負債合計	1,521,995,386
差引純資産	2,761,593,959

社会福祉法人小羊学園の施設等の2008年度利用状況一覧

	利用定員	利用者平均	利用実績
小羊学園児童寮(10月まで)	30	29.1	—
小羊学園青年寮(10月まで)	30	30	—
三方原スクエア児童部(11月以降)	20	19.6	—
三方原スクエア成人部入所(11月以降)	30	29.8	—
三方原スクエア成人部日中活動(11月以降)	40	38.6	—
小羊学園短期入所(10月まで)	4	—	延924日
三方原スクエア短期入所(11月以降)	10	—	延650日
小羊学園→スクエア(児童の日中一時支援)	—	—	9105時間
小羊学園→スクエア(成人の日中一時支援)	—	—	1658時間
支援センターわかぎ	50	51	—
支援センターわかぎ短期入所	4	—	延1037日
支援センターわかぎ日中一時支援	—	—	3291時間
つばさ静岡	60	62	—
わたぐも(つばさ静岡通園)	15	13.4	—
つばさ静岡短期入所(宿泊)	10	—	延2611日
つばさ静岡短期入所(日帰り)	—	—	793日
小羊デイケアホーム	20	22.3	—
オリーブの樹	20	17.5	—
マルカート	20	15.0	—
ドルチェ(日中一時支援・放課後等支援)	10	11.6	—
温心寮	6	5	—
ひまわり	5	5	—

2. 貸借対照表

資産の部				負債の部			
勘定科目	当年度末	前年度末	増 減	勘定科目	当年度末	前年度末	増 減
流動資産	497,965,113	595,202,335	-97,237,222	流動負債	99,222,760	167,112,807	-67,890,047
現金預金	197,914,260	323,351,279	-125,437,019	短期運営資金借入金	20,000,000	0	20,000,000
未収金	277,427,840	268,917,606	8,510,234	未払金	78,900,124	89,361,235	-10,461,111
貯蔵品	206,619	409,751	-203,132	預り金	322,636	77,735,372	-77,412,736
立替金	2,242,584	2,130,847	111,737	前受金	0	16,200	-16,200
前払金	173,810	392,852	-219,042	固定負債	1,422,772,626	1,157,659,846	265,112,780
短期貸付金	20,000,000	0	20,000,000	長期設備資金借入金	1,393,774,288	1,121,054,876	272,719,412
固定資産	3,785,624,232	3,101,619,936	684,004,296	長期運営資金借入金	12,918,000	21,530,000	-8,612,000
基本財産	3,586,871,150	2,748,463,641	838,407,509	退職給与引当金	16,080,338	15,074,970	1,005,368
建物	2,450,399,924	1,717,598,057	732,801,867	負債の部合計	1,521,995,386	1,324,772,653	197,222,733
土地	1,136,471,226	1,030,865,584	105,605,642				
その他の固定資産	198,753,082	353,156,295	-154,403,213				
建物	34,276,615	34,856,744	-580,129	基本金	135,433,534	146,442,534	-11,009,000
構築物	12,899,339	11,501,544	1,397,795	基本金	135,433,534	146,442,534	-11,009,000
機械及び装置	79,774	106,365	-26,591	国庫補助金等特別積立金	1,429,793,380	1,136,398,649	293,394,731
車両運搬具	24,518,803	19,767,828	4,750,975	国庫補助金等特別積立金	1,429,793,380	1,136,398,649	293,394,731
器具及び備品	64,875,612	64,694,001	181,611	その他の積立金	35,500,000	64,500,000	-29,000,000
土地	8,613,876	114,219,518	-105,605,642	その他の積立金	35,500,000	64,500,000	-29,000,000
建設仮勘定	0	26,147,200	-26,147,200	次期繰越活動収支差額	1,160,867,045	1,024,708,435	136,158,610
措置施設繰越特定預金	0	2,000,000	-2,000,000	次期繰越活動収支差額	1,160,867,045	1,024,708,435	136,158,610
施設・設備等積立預金	35,500,000	62,500,000	-27,000,000	(うち当期活動収支差額)	76,149,610	89,063,000	-12,913,390
退職共済預け金	16,080,338	15,074,970	1,005,368	純資産の部合計	2,761,593,959	2,372,049,618	389,544,341
その他の固定資産	1,908,725	2,288,125	-379,400				
資産の部合計	4,283,589,345	3,696,822,271	586,767,074	負債及び純資産の部合計	4,283,589,345	3,696,822,271	586,767,074

脚 注

1. 減価償却累計額 778,421,830 円
2. 徴収不能引当金 0 円
3. 移行時特別積立預金の積立不足額 0 円

3. 資金収支計算書(一般会計)

勘定科目	予 算	決 算	差 異
収入			
自立支援費等収入	851,425,000	852,045,983	-620,983
利用料収入	2,486,000	2,441,330	44,670
措置費収入	15,912,000	15,790,366	121,634
保険診療収入	477,468,000	479,472,978	-2,004,978
補助事業等収入	69,374,000	70,283,869	-909,869
経常経費補助金収入	46,399,000	46,655,380	-256,380
寄附金収入	43,929,000	44,576,560	-647,560
雑収入	23,301,000	24,007,748	-706,748
借入金利息補助金収入	4,590,000	4,652,084	-62,084
受取利息配当金収入	553,101	590,295	-37,194
経理区分間繰入金収入	257,999,358	251,119,754	6,879,604
経常収入計(1)	1,793,436,459	1,791,636,347	1,800,112
支出			
人件費支出	1,045,392,000	1,039,527,282	5,864,718
事務費支出	156,026,630	150,645,369	5,381,261
事業費支出	219,568,101	214,377,112	5,190,989
借入金利息支出	6,744,000	6,668,816	75,184
経理区分間繰入金支出	258,302,595	251,119,754	7,182,841
経常支出計(2)	1,686,033,326	1,662,338,333	23,694,993
経常活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	107,403,133	129,298,014	-21,894,881
施設整備等による収入			
施設整備等補助金収入	368,104,000	368,104,000	0
施設整備等寄附金収入	24,371,000	20,000,000	4,371,000
固定資産売却収入		250,000	-250,000
施設整備等収入計(4)	392,475,000	388,354,000	4,121,000
施設整備等による支出			
固定資産取得支出	859,471,250	847,726,121	11,745,129
施設整備等支出計(5)	859,471,250	847,726,121	11,745,129
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	-466,996,250	-459,372,121	-7,624,129
財務活動による収入			
借入金収入	313,100,000	313,100,000	0
借入金元金償還補助金収入	18,000,000	18,000,000	0
積立預金取崩収入	42,000,000	42,000,000	0
その他の収入	1,710,400	1,451,520	258,880
財務収入計(7)	374,810,400	374,551,520	258,880
財務活動による支出			
借入金元金償還金支出	51,812,763	48,992,588	2,820,175
積立預金積立支出	13,000,000	13,000,000	0
その他の支出	12,182,000	11,832,000	350,000
財務支出計(8)	76,994,763	73,824,588	3,170,175
財務活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	297,815,637	300,726,932	-2,911,295
予備費(10)	10,014,934		10,014,934
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	-71,792,414	-29,347,175	-42,445,239
前期末支払資金残高(12)	428,089,528	428,089,528	0
当期末支払資金残高(11)+(12)	356,297,114	398,742,353	-42,445,239

4. 事業活動収支計算書(一般会計)

勘定科目	本年度決算	前年度決算	増 減
収入			
自立支援費等収入	852,046,823	792,932,741	59,114,082
利用料収入	2,441,330	2,085,700	355,630
措置費収入	15,790,366	16,617,074	-826,708
保険診療収入	479,472,978	430,796,531	48,676,447
補助事業等収入	70,283,869	51,762,481	18,521,388
経常経費補助金収入	46,655,380	45,685,790	969,590
寄附金収入	45,827,950	38,952,552	6,875,398
雑収入	24,007,748	24,383,786	-376,038
借入金元金償還補助金収入	18,000,000	18,000,000	0
引当金戻入収入	1,926,172	14,493,580	-12,567,408
国庫補助金等特別積立金取崩額	63,197,758	54,407,532	8,790,226
事業活動収入計(1)	1,619,650,374	1,490,117,767	129,532,607
支出			
人件費支出	1,039,527,282	956,363,315	83,163,967
事務費支出	150,684,009	150,178,687	505,322
事業費支出	214,449,436	201,313,705	13,135,731
減価償却費	131,534,047	93,628,294	37,905,753
引当金繰入	2,760,000	2,855,148	-95,148
事業活動支出計(2)	1,538,954,774	1,404,339,149	134,615,625
事業活動収支差額(3)=(1)-(2)	80,695,600	85,778,618	-5,083,018
収入			
借入金利息補助金収入	4,652,084	4,800,082	-147,998
受取利息配当金収入	590,295	701,523	-111,228
会計単位間繰入金収入	0	739,154	-739,154
経理区分間繰入金収入	1,790,506,267	105,626,562	1,684,879,705
投資有価証券売却益(売却収入)	0	7,500,000	-7,500,000
事業活動外収入計(4)	1,795,748,646	119,367,321	1,676,381,325
支出			
借入金利息支出	6,668,816	5,804,036	1,064,780
経理区分間繰入金支出	1,790,506,267	105,626,562	1,684,879,705
雑損失	474,652	13,668,787	-13,194,135
事業活動外支出計(5)	1,797,649,735	124,899,385	1,672,750,350
事業活動外収支差額(6)=(4)-(5)	-1,901,089	-5,532,064	3,630,975
経常収支差額(7)=(3)+(6)	78,794,511	80,246,554	-1,452,043
収入			
施設整備等補助金収入	368,104,000	25,130,000	342,974,000
施設整備等寄附金収入	25,257,379	50,200,000	-24,942,621
国庫補助金等特別積立金取崩額	0	1,097,688	-1,097,688
その他の特別収入	0	8,201,771	-8,201,771
特別収入計(8)	393,361,379	84,629,459	308,731,920
支出			
基本金組入額	20,000,000	50,000,000	-30,000,000
国庫補助金等特別積立金積立額	356,592,489	23,331,151	333,261,338
固定資産売却損・処分損(売却原価)	10,341,791	2,125,739	8,216,052
その他の特別損失	9,072,000	356,123	8,715,877
特別支出計(9)	396,006,280	75,813,013	320,193,267
特別収支差額(10)=(8)-(9)	-2,644,901	8,816,446	-11,461,347
繰越収支差額			
当期活動収支差額(11)=(7)+(10)	76,149,610	89,063,000	-12,913,390
前期繰越活動収支差額(12)	1,024,708,435	827,645,435	197,063,000
当期末繰越活動収支差額(13)=(11)+(12)	1,100,858,045	916,708,435	184,149,610
基本金取崩額(14)	0	0	0
基本金組入額(15)	0	0	0
その他の積立金取崩額(16)	42,000,000	120,000,000	-78,000,000
その他の積立金積立額(17)	13,000,000	12,000,000	1,000,000
次期繰越活動収支差額(18)=(13)+(14)-(15)+(16)-(17)	1,160,867,045	1,024,708,435	136,158,610



家族みんなで参加してくださるところもあり、日常ではなかなかできない良い交流のひとつでした。

放課後児童サポートセンタードルチェでは、年に数回、土曜日に親子参加型の余暇プログラム「どれみ倶楽部」を実施しています。五月三〇日に今年度、第一回のどれみ倶楽部を実施しました。今回の内容は、親子で餃子（ぎょうざ）を作ろう。浜松という「鰻」と思われる方は多いと思いますが、浜松は餃子でもちょっと話題になっているのです。エネルギーいっぱい動き回った男の子たちの中には作ることに集中できなかった人もいましたが、作った後の昼食も楽しみの一つ。手作りの餃子・スープなど、おなか一杯食べてきます。

施設だより

ドルチェ (ドルチェ)

餃子づくりでチャレンジ

どれみ倶楽部

三方原スクエア

スタッフ養成講座はじまる

昨年から新体制での支援がはじまった三方原スクエアでは、新しく加わった職員も多く、また分散して支援する体制になったことから、職員の資質の向上をめざして、定期的な職員研修をスタートしました。全員が集まることはできないので、毎月一講座を二回ずつ開き、新しい職員は必ず参加してもらうようにし、四月には稲松理事長を講師に「福祉の仕事とは（小羊学園がめざすもの）」、五月には、山崎施設長が講師を務め「知的ハンディのある人たちの人権と接遇」というテーマで研修を行いました。

オリブの樹(わがな)

障がい児放課後支援始める

浜北区尾野にあるオリブの樹では、今年度から開校となった浜北特別支援学校に通うこどもたちの放課後支援「わがな」を始めました。学校からは車で一〇分くらいですが、場所の制限もあり定員五名というスタートで、多くのご希望には十分お応えできないことは心苦しいですが、浜北区においても、できる範囲で障がいのあるこどもたちの放課後等のニーズに応えていきたいと思っています。

小羊学園を支える会だより

小羊学園を支える会の事務局について、以前には山浦明子氏が定年後、専任者として担当して下さっていましたが、社会福祉法人小羊学園への寄付金の受入れにかかる対応が中心であったこともあり、その後は理事長や施設長を中心に事務職員に協力してもらい対応してきました。今年度より、将来のことを考えて担当事務員を置くことにしました。三方原スクエアの近くにお住まいで、遠州栄光教会の会員でもある鈴木昌代さんです。以前にはパートで小羊学園の事務をお手伝い下さっていたこともあります。



鈴木昌代さん(ご家族が描いてくれた似顔絵?)

小羊学園を支える会の口座

(口座名義)「小羊学園を支える会」

郵便振替口座 00890-4-45415

りそな銀行浜松支店 (普通) 040005

静岡銀行細江支店 (普通) 043483

ご希望があれば、郵便振替用紙をお送りします。

下記へご連絡ください。

三方原スクエア ☎053-414-1833



つばさ静岡・看護師募集

毎回お願いしていますが、つばさ静岡では、看護職員の募集をしています。

皆様の周りにお心当たりの方がいらっしゃいましたらどうぞご紹介下さい。

▼連絡先 つばさ静岡

▼TEL (〇五四) 二四九二八三〇

編集後記

児童寮・青年寮から三方原スクエアへの移転は、小羊学園の新しい時代への転換点だと思っています。それは、施設ごとにより支援をしようというそれぞれの努力から、地域全体のネットワークでよい支援をめざすことへの転換です。社会福祉法人小羊学園内の施設の連携だけではなく、関わりのある外部の人たちとのつながりが大切になります。小羊学園と地域の皆様をつなぐ「つぶえ」の編集担当を、新しい時代を意識して次号より古橋誠氏に交代します。皆様からのご意見やご感想も是非お寄せ下さい。

平和をお祈りいたします。(I)